



『From7 第50回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成25年1月9日(水) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題予定

1. 【上部構造の考察】

歯科技工士 磯川 純（白鳥歯科インプラントセンター）

『白鳥歯科インプラントセンターも2013年10周年を迎えます。チームの一員として、多くの患者様の補綴装置を製作してきました。確立されたAll-on-4コンセプトのプロセラインプラントブリッジを製作していく中で、Zr、Ti フレームともに高い信頼性を得られています。しかしその中で自分なりの問題点を感じた2症例を紹介したいと思います。』

2. 【歯科医院における院内感染予防対策】

歯科医師 久保 浩太郎（白鳥歯科インプラントセンター）

『平成17年に、医療施設における院内感染対策について、医療法の一部が改正され、これまで慣習的に行われてきた感染予防対策の見直しが行われました。しかし「しなければならないから行う」のでは、効果や、意義が大きく違ってきます。科学的な根拠に基づき、正しいことを理解する事によって、器材処理をどのように行えば良いのか、明確にする必要があります。一方、これらのすべてを実践するには、コストも時間もかかります。従って、病院全体がチームとして話し合い、どのように対応するかが重要だと思われまます。』

院内感染予防の「これまで」と「これから」について、Dr, DH のみなさまに、お話しさせていただきます。』

3. 【「私の臨床」- 昨年の臨床を振り返って - 】

歯科医師 白鳥 清人（白鳥歯科インプラントセンター）

『昨年は色々な事がありました。近年、ますますインプラント治療が注目されている中で、マスコミでは使い回し事件と、インプラント治療後の死亡事故が牽引してネガティブな報道が多くありました。しかし、これからは歯科の実力の見せ所、数々の報道も追い風と受け止めて、「For the patient」を信念に、歯科臨床を楽しんでいきたいと思ひます。今回は、昨年を振り返って、最近のインプラント治療について考えてみたい。』